

新たな駅ビル整備基本構想（素案）に対する意見募集の結果概要

※素案自体は徳山駅周辺デザイン会議が示したものですので、基本的に御意見に対するデザイン会議の考え方を記載していますが、市が回答すべきものについては市の考え方を記載しています。

項目	番号	御意見の要旨	徳山駅周辺デザイン会議または市の考え方
機能	1	電車を利用して来やすくなるので、市役所を設置する。	下記の市の考え方を踏まえ、新たな駅ビルとして市役所新庁舎を整備することは適当ではないと考えていますが、行政窓口の一部については、市民の利便性を向上させるために導入すべきと考えています。 【市の考え方】 交通結節点にある新たな駅ビルは、交通利便性が非常に良く、市民が集いやすく利用しやすい立地ですが、土地の形状や面積に制約条件もあります。また、市役所新庁舎については、平成25年3月に取りまとめた「周南市庁舎建設基本構想」の中で、駅ビル敷地を含む候補地の比較検討を行った結果、新たな用地買収や権利の調整が不要で、本庁機能の集約や駐車場を確保しやすいまとまった敷地が確保できる点、他官公署との連携が図りやすい点などから、現本庁舎敷地を最適と整理しています。
	2	のぞみが停まる新幹線駅という強みを持つ徳山駅は、東京・大阪・広島・九州といった広域から観光客や帰省客などを呼び込むことができる。こうした利用客が徳山駅を拠点とする施策が必要だと思う。もう一度来たい、周南市に住みたいと利用客が思うようなアピールができる施設が必要である。	新たな駅ビルについては、交通結節点であるJR徳山駅や徳山港と隣接し、周南市の玄関口、まちの顔となる場所であることから、周南市を訪れる人を温かく迎え入れ、周南市の情報を広く紹介する場所が必要です。また、これまで商業機能のみが注目されていた中心市街地に、市民生活を豊かにする機能や都市環境が求められていることから、多くの市民が日常的に来街して快適に過ごし、交流が生まれる場所も必要です。
	3	「そこに行ったら、あるよ！楽しいよ！」と言えるような便利なお店や空間を作ると、駅の利用に関係なく駅ビルに行くことができる。	そうしたことから、新たな駅ビルのコンセプトを「このまちへ来る人へのおもてなしの場」、「このまちに住んでいる人たちの居場所」として、観光客や帰省客、駅利用者、中心市街地来街者のニーズに合った機能を導入して拠点性を高めることとしています。中心商店街が隣接していることから主な商業機能は商店街に配置することが効率的かつ効果的であり、回遊性の向上にも繋がると考えますが、駅利用者等のニーズが高い飲食店や特産品販売店、観光案内所のような駅ビルとして必要性の高い商業等施設、商店街や駅前広場と連携することで賑わいに繋がるピロティや多目的広場などの機能を導入して、新たな駅ビルを活用した賑わいや交流を創出できるものと考えています。
	4	駅の利用客を逃さない魅力あるテナントを入れる。乗降客の多い徳山駅の利用者がそのまま駅ビル利用者につながるために、駅ビル内で食事やちょっとした買い物ができる場所がもう少しあったらいい。ただ駅の機能がある建物として捉えるのではなく、徳山駅を拠点として周南の活性化につながる建物となってほしい。	新たな駅ビルについては、用地の形状、建築条件等により、非常にスペースが限られています。新たな駅ビルのコンセプトに基づき、各機能の必要性や実現性、ニーズ、効果等を総合評価した結果を素案としています。
	5	県外から来た人から「この駅ビルには何もない。」という声をよく聞く。駅ビルには、何でも揃う、お土産が充実しているというイメージがあるので、もっと周南が感じられるようなお店や機能を入れる。	ピロティ活用施設については、ピロティの活用による相乗効果を期待できるような店舗等を想定しています。今後、設計段階などを通して、詳細について検討していきます。
	6	7ページの表の検討項目で△○の評価にもかかわらず、検討結果で×となっているものが多いが、スペースの取り合いだけの問題ではないか。	御幸通などの都市景観を活かせるように、展望ブース等については、設計段階で詳細を検討していきます。
	7	2、3階はイメージできたが、1階はコンセプトが見えづらく、具体的にイメージできなかった。飲食店は商店街と競合しない軽食のみであり、8ページのピロティ活用施設がどうなるのか気になる。	新たな駅ビルについては、「このまちへ来る人へのおもてなしの場」、「このまちに住んでいる人たちの居場所」をコンセプトに、駅利用者の利便性や中心市街地の活性化の観点から、従来機能の質の向上とともに、新たな機能の導入も図ります。
	8	海と陸との接点に駅ビルがあるのに、外の景色や中の雰囲気を楽しんだり、市外にPRしたりする場所が少ない。	
	9	現在の駅ビルとあまり変化がないような印象を受ける。ただ、建物を新しくするという目的の建替えでは意味があまりない。	

項目	番号	御意見の要旨	徳山駅周辺デザイン会議または市の考え方
機能	10	様々な人が集える場所は1～2階に、使用目的が限られるものは3階に区別した方がいい。	北口駅前広場やJR徳山駅、南北自由通路との関係性等を考慮し、素案のとおり必要な機能を配置しました。
	11	市民活動支援センターを残す。(3件)	市民活動支援センターを駅ビルに設置する必然性は高くありませんが、市民活動を支援する意義は高く、ピロティ等を活用した活発な市民活動が賑わいにも繋がることから、1階に一定規模の市民活動センター機能を配置しています。 【市の考え方】 安全面等については、供用開始後に問題が生じないように、新たな駅ビルの運営方法等と一緒に検討していきたいと考えています。
	12	市民活動支援センターが1階に設置されると、市民活動グループが今までのような利用ができるかどうか気になる。どの市民活動グループも資金面で困窮しており、支援センターはその一助になっているので、現状のような使い方を今後もできたらいい。	
	13	現在の市民活動支援センターは、情報は一般の人でも閲覧できるが、それ以外は登録グループのみの利用となっている。1階にあると様々な人が出入りするようになるので、トラブルが起きないか気がかりである。	
	14	現在の市民活動支援センター内には、事務所、印刷作業、打ち合せ、ロッカー、掲示の場所がある。事務所、印刷作業、打ち合わせ、ロッカーは密接に関係しているため、危機保全・トラブル対応・安心の観点からも、3階の市民活動支援センター内にスペースを作る。	
	15	クリニック、ユニクロ、100円ショップを入れる。	
	16	アクセサリーなどの小物雑貨、洋服、靴、カバンの店を入れる。	
	17	飲食店を入れる。(4件)	
	18	電車利用時や待ち合わせに便利なので、カフェを入れる。	
	19	1階に特産品販売所があるので、その商品を使ったメニューが味わえるような軽飲食店があれば、相乗効果がある。	
	20	他県で農業や食物について学ぶ高校生が食堂を開き、地元の人に利用してもらう例があったが、周南市でもそういう学校があれば、徳山駅に出店させたら面白い。	
	21	学校が駅に近いので、帰りに駅ビルで勉強することがたまにあるが、友達と会って話すところがないので、休みにわざわざ街に出ることがない。学生が街に出かけるために、都会で見かけるような図書館や勉強するスペース、スターバックス・コーヒーがあれば、待ち合わせや会話ができる。	
	22	2階の考え方とビルゾーニング案があっていないのではないかと。「おもてなしとまじわりの場所」であるなら、市外県外利用者に対して周南のアピールにつながるスペースや、利用者目線に立ったスペース(利用者がお金を落とす形で待ち時間を過ごせる場所。例:本屋、服屋、ドラッグストア、特産品店等)がもう少し増えたらよい。2階3階とも「市民の居場所」になっている印象を受けた。	
	23	17時以降も住民票等の手続きができるような市役所窓口を入れる。(2件)	
	24	2階に行政サービス窓口は必要か。地域情報発信施設や観光案内との併設よりも事務所との併設を考えるべきである。	
	25	周南地域や中心市街地の情報を広く紹介する場として、大型電光掲示板を設置する。	
	26	情報・メディアゾーンとしては広すぎる。(2件)	
	27	情報・メディアゾーンは、素案の3分の1くらいでいい。	
	28	情報・メディアゾーンは、高齢者や学生等の溜まり場になってしまう。	

項目	番号	御意見の要旨	徳山駅周辺デザイン会議または市の考え方
機能	29	学習スペースは駅にある必要性を感じない。市立図書館にもあるので、それで十分である。(2件)	図書館は、図書等を収集・整理・保存して、市民等の調査研究やレクリエーションに役立たせることを目的とした施設であり、本来は学校等の勉強をする場所ではないと考えています。また、現・駅ビル2階の市民多目的広場の利用状況をみると、気軽に会話や飲食ができることもあり、多くの学生等が学習スペースとして利用されています。 そうしたことから、新たな駅ビルにおいても、情報・メディアゾーンとも連携しつつ、市民等が気軽に学習等ができるスペースを確保することとしました。
	30	3階は、利用する人が決まってきて、その人達だけに便利なものになる。	3階は、「市民の居場所」として、情報ブース、学習スペース、会議室、展望スペース等を整備した誰もが利用できる空間とします。コンテンツの工夫等により、特定の利用者に偏らないような柔軟な対応が必要と考えます。
	31	会議室をもっと増やし、市内外の人に研修やイベント等で利用してもらおう方が、人の流れができ、利用収入も得られる。	会議室を駅ビルに設置する必然性は高くありませんが、交通結節点でアクセスに便利なことから多様な人に利用してもらえ、商店街への波及効果が期待できることなどから、ある程度の規模の会議等に対応できるスペースを新たな駅ビルに確保することとしました。
	32	児童教育の場所、若い母親が集まれる場所、育児・保育関係施設を入れる。	軽飲食店やキッズコーナーなど親子が集い憩える空間は必要と考えますので、ニーズ等を考慮しながら検討していきます。
	33	詩人まど・みちおを活かし、童謡資料の展示等により周南市の文化を情報発信する「童謡お楽しみコーナー」を設置して、市民交流の場やおもてなしの場をつくる。	地域情報発信のコンテンツの1つとして、検討していきます。
	34	徳山駅は通勤客や出張者が多いものの、その滞留がほとんど期待できない状況なので、ビジネス関係の施設を設置すべきである。周南市の活性化のためにも、起業を支援するような施設が必要である。 ①情報・メディアゾーンにWi-Fiスポット、貸し応接スペース	Wi-Fiスポットについては、ビジネス利用者はもちろんのこと、一般利用者の利便性を向上させるものであり、新たな駅ビルに導入すべきと考えますので、設計段階で詳細を検討していきます。 貸し応接スペースについては、ビジネス利用者の需要を見込めるので、会議室との併設を検討していきます。
	35	徳山駅は通勤客や出張者が多いものの、その滞留がほとんど期待できない状況なので、ビジネス関係の施設を設置すべきである。周南市の活性化のためにも、起業を支援するような施設が必要である。(再掲) ②インターネット回線、机、椅子等を備えた、事業展開・研究開発の拠点機能を有するオープンブース	交通結節点の利点を活かせるので一定の効果はあるものの、その必然性は高くなく、公共施設との併設による営業日等の制約もあるので、基本的に新たな駅ビルよりも周辺の商業地や業務地の方が良いと考えます。
	36	徳山駅は通勤客や出張者が多いものの、その滞留がほとんど期待できない状況なので、ビジネス関係の施設を設置すべきである。周南市の活性化のためにも、起業を支援するような施設が必要である。(再掲) ③周南地域地場産業振興センターと連携した、周南地域の工業製品、産業、産品等の情報発信場所	地域情報発信施設の中のコンテンツの1つとして、検討していきます。
37	観光都市を考えるのであれば、レンタカーやレンタサイクルを置くべきである。	周辺の観光資源との連携をしていく必要はありますが、レンタカーについては既に徳山駅周辺に店舗を構えていますので、新たな駅ビルに導入しなくても良いと考えます。レンタサイクルについては、中心市街地とその周辺の回遊性を高める方策の1つとして考えられますので、将来的な導入について、市が駐輪場整備とともに、地理的な条件、需要、維持管理方法等を総合的に検討していきますので、新たな駅ビルには導入しないこととします。	

項目	番号	御意見の要旨	徳山駅周辺デザイン会議または市の考え方
機能	38	2階に市民サロンも設置してほしい。市役所内にあるより駅にある方がより多くの人が情報を見ることができる。	情報公開窓口である市民サロン自体は市役所に必置のものと考えますが、行政情報を広く市民の皆様に周知等していくために、情報公開窓口の一部を新たな駅ビルに導入することを検討していきます。
	39	地下にスーパーが入れば、駅を毎日利用する人にとって便利である。そこに地元の農作物等があれば、地産地消にもなる。	既に商店街にスーパーマーケットがあること、土地の形状等を総合的に考慮しますと、スーパーマーケットを新たな駅ビルに導入すべきではないと考えますが、地元の農作物等の特産品については、販売所の設置を検討していきます。
配置	40	人の動線を十分考慮してレイアウトされているか疑問。駅の出入りのしやすさはどうか。駐車場を西側に持ってきているが、商店街に行くには遠くなるし、荷物を持って昇り降りするのは避けたいという心理もある。列車利用者、駅ビル利用者、街の利用者も含めベストなのか。切符を買うには大回りになる。出迎えの際の利便性はどうか。普通、ビルの真ん中辺りに出入口があり、1階で楽しんだ後、地下や上階にそこから移動する。素案では、外へ出て端から昇り降りさせるのか。	動線やレイアウトについては、御指摘のとおり利用者にとって大変重要なことであると考えています。ただ、基本構想（素案）においては、新たな駅ビルの機能等について考え方を示すものですので、レイアウト等については、出入口も含めて、設計段階で検討していきます。 【市の考え方】 南北自由通路等については、既存の諸条件を考慮して、現在工事中の南北自由通路等の位置が適当と判断しました。
外観	41	単純な3階建ての直方体ではなく、コストをかけずに、ユニークで街と調和するセンスの良いものができるのか。	基本構想（素案）は、新たな駅ビルの機能等について考え方を示すものですので、直方体といった新たな駅ビルの外観や内装は決定していません。新たな駅ビルのデザインについては、設計段階において、詳細を検討していきます。 【市の考え方】 「徳山駅北口駅前広場、南口駅前広場及び南北自由通路基本計画」においても、駅ビルについて北口駅前広場や御幸通と一体感のある景観デザインとすることを目指しています。
規模	42	地下を活用しないのか。	新たな駅ビルに必要な機能とスペースを検討した結果、素案では地下を活用する必然性はないと考えますが、設計段階で最終的な調整をしていきます。
	43	延床面積約4,500㎡は、本市の人口規模や徳山駅利用者数から導いた施設として必要な規模か。	新たな駅ビルは賑わいや交流の拠点の1つと考えており、交通結節機能の強化と併せて、必要な機能の検討を行った結果、素案のとおり規模としました。
	44	費用対効果を考えた場合、新しい駅ビルを2階建てにするなど、さらに規模を小さくする必要はある。素案では、現在の駅ビルの機能をそのまま維持し、ハード面（建物）だけがきれいになるだけである。駅ビルの建設コスト縮減と商店街の活性化を両立させるため、新駅ビルは2階建てとし、駅ビル3階の考え方にある「市民の居場所」は商店街内に移すべきである。	【市の考え方】 「市民の居場所」については、駅利用者や来街者のために新たな駅ビルにも必要と考えていますが、周南市中心市街地活性化基本計画（平成25年3月29日認定）の中では、誰もが集い憩える中心市街地として公園都市（パークタウン）を目指しており、中心商店街にも「市民の居場所」として憩える空間や拠点が必要と考えます。
全体	45	「無難にまとめてはいるが斬新性、目新しさ、惹きつける魅力に不足」で何か物足りない。 建物は44年経過して老朽化しているが、今の予算からみて費用対効果はどうなのだろうかという疑問は残る。（今のままで運営者、運営方法を変えることでも効果は上がるだろうが、誰に任すか問題。）	【市の考え方】 現在の駅ビルについては、南北自由通路及び橋上駅舎の整備後に解体することが決まっています。また、駅ビル内の設備につきましても、老朽化により更新時期を迎えています。 徳山駅周辺を一体的に整備することで、拠点性の向上や交通結節機能の強化などの効果を生み出すことができます。

項目	番号	御意見の要旨	徳山駅周辺デザイン会議または市の考え方
駐車場	46	下松市へ流れてしまった人の流れを呼び戻さなければいけない。下松市へ人が流れた理由は、魅力的な商業施設と車での利用しやすさである。車中心で動く人たちの集客のために、徳山駅に駐車場を整備してほしい。	<p>【市の考え方】</p> <p>新たな駅ビルの利用者が不便にならないよう、その需要に対応した附帯駐車場を整備する必要があると考えており、駐車台数については、新たな駅ビルの機能が定まった後の設計段階で検討していきます。</p> <p>駐車料金については、税金による民業圧迫とならないように注意しつつ、新たな駅ビルや駐車場の運営方法、周辺の民間駐車場の利用形態などを考慮しながら、利用しやすい料金体系などの検討を進めていきます。</p>
	47	ある程度の駐車場を整備する。	
	48	イベントの物の搬入時に駐車場が足りない。	
	49	駅ビルや商店街を利用するにも無料の駐車場が少ない。車を置くところがないので、行きたくない、行く気がしないという声をよく聞く。せっかく素晴らしい施設を造っても無駄になる。待ち合わせなどに気軽に、手軽に利用できる無料駐車場（有限開放で2～3階閉館時間とリンク）を整備する。	
	50	徳山中心部の活性化には、駐車場問題は避けて通れない。下松や新南陽と違い、有料駐車場が最大の弱点である。民間有料駐車場との関係もあり、市営駐車場を即無料にすることは難しいが、無料駐車場がないから下松や新南陽に買い物に行く人は多い。そのため、近鉄松下百貨店も撤退に追いやられたと言っても過言ではない。例えば、民間駐車場が200円/時間、市営駐車場の最初の1時間は無料で2時間は500円、以降200円/時間とすれば、短時間の駐車は市営駐車場、中長時間の駐車は民間駐車場へ流れることが予想され、民間駐車場の収入にも影響が少ないと考えられる。駐車場料金の体系は、様々な試験的運用を実施し、設定することを強調記載する。その際、市民へのPRもしっかり行う。	
手続き	51	「屋上の使い方は設計の段階で議論」とあるが、市民の意見をいつ確認するのか。	<p>【市の考え方】</p> <p>今後、新たな駅ビルの整備を進める中で、設計段階等において、適宜市民参画を実施し、市民等の皆様の御意見を聴取する機会を設ける予定です。</p> <p>【市の考え方】</p> <p>専門的な知識や経験を有する設計業者を選定して、より良い駅ビルを整備するように努めます。</p> <p>【市の考え方】</p> <p>今後も、西日本旅客鉄道株式会社や市民の皆様とともに、より良い駅ビルを整備するように努めます。</p> <p>【市の考え方】</p> <p>徳山駅周辺デザイン会議では、専門的な知見を有する学識経験者に加え、市民や経済団体、福祉団体の代表を委員として公開の場で検討を進め、このたび広く市民等の皆様から意見を募集したところです。今後も、こうした市民参画を経て、「私たちの駅、駅ビル」という愛着を持っていただけるように努めます。</p> <p>【市の考え方】</p> <p>今後も、市民参画が必要な段階において、なるべく多くの市民の皆様の御意見を聴取できるように努めます。</p> <p>【市の考え方】</p> <p>今後、民間のノウハウを活かした効率的かつ効果的な運営方法や運営主体についても、新たな駅ビル整備の具体化に併せて検討していきます。</p>
	52	情報不足、周知不足等から、公募期間の延長またはパブリック・コメントの再実施をすべきである。	
	53	設計は、駅ビルに関する経験や専門技術の高い設計業者をお願いし、プロの目線でゾーニングも含めて知恵を出してもらおうといい。	
	54	徳山駅のエキナカを早急に充実すべきと考えるが、駅ゾーンの発展のため、もっとJRと協同して推進し、それを市民に公開して知恵を集めるべき。	
	55	デザイン会議を聴いていると、外部の人からの質問や希望を受け付けていないので、やり方を改善して、「私たちの駅、駅ビル」という意識をもっと盛り上げていくべきである。	
	56	構想策定の初期段階で基礎意見の集積・集約が必要である。例えば、市民ワークショップの開催などを行うべきである。もっと広く、多く市民の意見をくみ上げる手法を導入すべきである。	
運営	57	市役所的な発想ではなく、リーダーシップをもった運営者、グループを早く選定した方がよい。過去の徳山ステーションビルの軌跡などを検討したら、問題点、課題が分かる。	

項目	番号	御意見の要旨	徳山駅周辺デザイン会議または市の考え方
その他	58	意見の元となる「徳山駅ビルの現状」のデータ等が不足している。	【市の考え方】 新たな駅ビル整備基本構想では、新たな駅ビルに必要な機能について方向性を出すことを目的としているため、把握可能な範囲で、現状の利用傾向を示すデータを掲載しています。
	59	多数ある「関係する上位計画」の内容と素案との関連性（どの程度上位計画拘束されるか）が不鮮明である。	【市の考え方】 基本的には、上位計画が示す方向性の中で、新たな駅ビルについて整備をしていくことになります。
	60	（北口駅前広場・橋上駅等） タクシーの待機台数は8台以内にして、一般の駐車場を多くする。地下道を駅に通じるようにする。一年中花が咲くような植栽にする。憩いの場、待合所、イベント会場にも利用できるようにする。駅に近い場所にタクシーやバスの降車ができるようにする。池は必要ない。 橋上駅、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行、近鉄ビル、大同生命ビルをつなぐ透明な屋根の街路（2階）をつくる。	【市の考え方】 いただいた御意見や御指摘は、今後、中心市街地活性化施策を推進していくうえで、参考とさせていただきます。
	61	徳山駅ビルを山口県東部の玄関口として幅広く利用者を増やすという思い、覚悟がどれくらいあったのか。今の駅ビルの利用者や商店街との摩擦・競合をできるだけ避けようという意識が働いたため、わざわざ行ってみたい店やスペースがどれくらいあるのか市民にはよく見えてこない。	
	62	南北自由通路ありきで作られているが、駅ビルだけでなく徳山駅全体の絵をJRと一緒に描いた後に、適正配置をすべく案を作るべきである。一気通貫で練り上げて調整していく「駅ビルマン」のような人がいなかったのか残念な気がする。	
	63	遠くから来て新幹線プラットフォームから海方面を見られ、晴海親水公園へフェリー乗り場から橋をかけて徒歩で行けたらいい。	

意見数71件（項目数63件）